



# むなかた市議会だより

平成24年6月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会運営委員会  
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号  
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591  
●市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/shinai/gikai/gikai-index.php  
●メール=gikai@city.munakata.fukuoka.jp

## 平成24年度 宗像市議会報告会

市民の皆さまの多くの参加とご意見ありがとうございました。

議会では、定例会の報告と市政全般にわたって市民のみなさんと自由で活発な意見交換を行うために議会報告会を開催しました。

開催日 平成24年4月11日～4月28日  
会場 市内コミュニティ・センター等13会場  
項目 (1) 平成24年第1回定例会の報告  
・平成24年度主要事業  
・平成24年度予算  
(2) 質疑および意見交換会  
参加者 285人(男性211人、女性74人)。  
昨年よりも66人多くの方が参加しました。



大島地区コミセンでの報告会の様子

定例会の報告では、火葬場施設(浄楽苑)整備事業、神湊ターミナル整備事業、東郷駅北口整備事業、イノシシ処理施設整備事業など、平成24年度主要事業の概要説明と予算決算関係資料を元に宗像市の財政状況について各議員が説明しました。意見交換会では、市民の関心が高い東日本大震災で発生した震災瓦礫処理、防災、学童保育などの意見が出され、また地域コミュニティとの関係や100条調査特別委員

暑中お見舞い

申し上げます

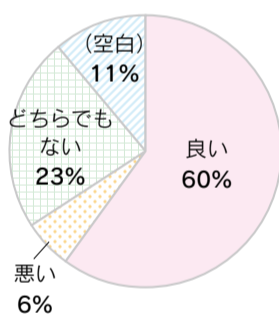


公職選挙法では「議員は答礼のための自筆によるものを除き、暑中お見舞いなどの時候のあいさつ状を出すことは禁止」されています。市民のみなさんのご理解をお願いします。

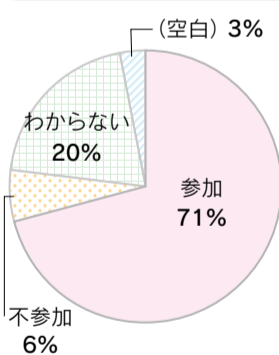
宗像市議会議員一同

### ●アンケート集計結果●

参加した感想



次回参加の意向



会場ごとの参加者数、アンケート回答者数

会場	参加者数	アンケート
吉武地区コミセン	10	9
赤間地区コミセン	60	28
赤間西地区コミセン	11	10
自由ヶ丘地区コミセン	17	15
旧中央公民館	2	2
南郷地区コミセン	20	18
東郷地区コミセン	19	16
日の里地区コミセン	19	18
玄海小学校	27	22
池野地区コミセン	16	14
岬地区コミセン	22	19
旧ゆうゆうぶらざ	17	15
大島地区コミセン	45	37
総計	285	223
H23	219	190

会(百条委)の設置などについて活発な意見交換が行われました。その中でも軽費老人ホーム設置認可および補助金交付調査のために設置された百条委については、真相究明を求める声、百条委設置を問いただす声など、市民のみなさんの率直な思いに直接触れることができ、有意義な議会報告会となりました。

※意見交換会での質疑等一覧およびアンケートの結果は、各地区コミセンなどに配置しています。また、市ホームページでも閲覧できます。

(※1) 大規模太陽光発電1発電出力が500kW以上の太陽光発電設備とする。

### 各常任委員会で審議した議案の一部を紹介します

#### 太陽光発電の利用促進

賛成多数で可決

本年7月から再生可能エネルギーの固定価格買取制度が始まりました。本市でも再生可能エネルギーの利用促進を図り地球温暖化防止に寄与する新たな取り組みとして、大規模太陽光発電(※1)が設置される土地、家屋

および償却資産の固定資産税を5年間を限度に全額免除し、設置を促進します。再生可能エネルギーには太陽光、風力、地熱、中小水力、バイオマスがあるが、大規模太陽光発電に参入を検討している民間事業者が多いことと本市に適した発電方法を検討し、太陽光発電に絞りました。

市では、民間遊休地への立地誘導を図ることで、未利用地の有効活用と税収増の相乗効果も期待しています。

◆議会では、次の意見が出されました。

- ・太陽光発電にも課題があり税の優遇措置までして進めることは慎重にすべき。
- ・脱原発には再生可能エネルギーの推進が不可欠である。持続的な経営を望む。

#### 審議会が設置されました

全員賛成で可決

宗像市総合計画審議会 平成27年度から10年間の第二次宗像市総合計画を策定します。

市は総合計画審議会の特徴として①人口減少に伴ない市の成長戦略の明確化②市民参画協働のさらなる前進③全庁各課による素案の作成を行うとしています。

◆将来の宗像市をつくる重要な審議会である。行政の提案を承認するだけでなく、広く市民の意見を反映して欲しいという意見がありました。

#### 宗像市史跡等

保存管理推進委員会

市内民有地などにある史跡は適切な保存管理が必要であるため保存管理計画を策定します。24年、25年度は、宗像神社境内と沖の島原始林の保存管理計画を策定し、世界遺産センターへ提出する推薦書に反映します。

委員は史跡部門、建設部門、自然部門の専門家と市民代表で構成します。

#### 新たに生じた

土地の確認について

全員賛成で可決

神湊の漁港内の埋め立てにより、新たに1万3155平方メートルの土地が市有地となりました。土地は、荷さばき所、漁具保管修繕施設、蓄養

### 100条調査特別委員会経過報告

議会では、平成24年3月定例会にて、軽費老人ホーム設置認可および補助金交付調査に関する百条調査特別委員会(以下「百条委」という。)を設置しました。

これまで14回(※7月9日現在)の百条委を開催し、市職員や関係者など延べ38人を説明員、参事人および証人として招致し、調査を行ってきました。百条委での尋問や関係者から提出された資料などを通じて、この事業におけるさまざまな問題や疑問点が明らかになってきました。

今後、百条委では、証人などから得られた証言を整理して、調査結果をまとめた報告書を作成していきます。

百条委の報告書については、平成24年第3回(9月)定例会にて報告する予定です。

# 一般質問

6月12日から6月14日までの3日間にわたって、14人の議員が市の方針や行政事務について、合計21項目の質問を行いました。

○議員が質問を届け出た順に掲載しています

○掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています

○質問の詳細については、録画映像もしくは8月下旬に公開予定の議事録をご覧ください

## 宗像の知名度

宗政会／岩木 久明

**問** 赤間駅を宗像駅、東郷駅を西宗像駅に駅名変更することは宗像市の観光の発展、経済効果もあると思うが検討を。

**答** 宗像の名がつくことの効果は大きい。駅名変更には市民の理解と協力が不可欠であり、官民一体で取り組み、市民の機運を高めていきたい。



1日約1万8千人が利用する赤間駅

**問** 宗像駅と宗像大社・海の道むなかた館・鎮国寺・道の駅むなかた・うみんぐ大島・中津宮・沖ノ島「沖津宮」と関連させてPRを強化することが宗像市の知名度アップになると思うが検討を。

**答** 駅と観光施設を関連させることは知名度向上につながる。駅名変更と一体的にPRすることを検討していきたい。

**問** 宗像駅・西宗像駅に観光案内所の設置を。

**答** 駅を利用する観光客が今後増えてくれば、設置を検討するが、現状では考えていない。

## 子育て支援のファミサポ設置を

新政クラブ／日隈 一恵

**問** 共働き家庭の一般化、核家族化、家庭や地域の子育て力の低下を背景に第2次子育て支援計画を策定。その検証と課題は。

**答** 多様な事業を行い、子育て環境の充実を図ってきた。今後は時代に合った施策にも取り組む。子育て力の向上のための支援は。

**問** 家庭教育学級の開催や子育て支援センターでの取り組みの充実。

**答** 子育て家庭の交流と支援については、子育てサロンなどの交流の場を確保。



**問** 保育サービスの活用と充実については。

**答** 保育園の待機児童解消のため、施設整備による定員増を図る。

**問** 国が推進する育児の総合援助の仕組みであるファミリサポセンター設置の必要性は。

**答** 設置には課題が多い。現在の事業を総合的に再点検する必要がある。

## 減量努力に対しごみ料金値下げを

日本共産党／新留久味子

22年度の可燃物の家庭系ごみ量は、料金改定前と比較し13%の減量となっている。これはゴミ袋料金改定の目的である10%減量を達成している。

**問** ごみ減量に対する努力を評価し、ごみ袋値下げができないか。

**答** ごみ袋料金はごみ発生から処分に至るすべての工程にかかる費用と、値下げした場合の影響をあわせて検討する必要がある。今後、ごみ焼却場の維持管理費に年間数十億円かかる見込み。今年度からごみ処理基本計画の見直しを行い、



現在のごみ袋：特大64円、大42円、小30円

焼却炉を2炉から1炉にすることなどを含めた焼却場のあり方、新たなごみ減量の取り組みやごみ袋料金などについて総合的な検討を行う。



市庁舎の緑のカーテン

## 夏の電力不足に節電アクション

宗政会／石橋 文恵

**問** 原発に依存しない電力供給が進められる中、生活スタンスの見直しや節電への工夫が必要。①削減の工夫事例を示して啓発を。②目に見える啓発として、市民協働で緑のカーテンを育成・普及しコンクールの実施を。

**答** ③親子避難所体験会などで体感と防災教育を。④家庭で取り組める

**問** 宗像産の学校給食材の継続的な安定供給と農業者の収益増のため、保存庫の整備を望む。

**答** 保存庫にかかる費用により食料費が上がり、農協との共同利用も含め協議していく。

## イノシシ加工処理場が稼働へ

市民連合／西山 隆

毎年多くの農産物に被害を与えている現状のなかで、さらなる捕獲を推進することが必要である。

**問** 施設の運営・維持管理はどがするのか。

**答** 宗像猟友会、岡垣駆除隊、農業者、飲食店、食肉販売店などで構成する生産組合を組織し、委託する予定である。



造成中の施設建設地

**問** 市内道路に親しみ愛着をもてる愛称を

**答** 歴史・文化・スポーツを生かした愛称を道路につけては。

**問** これまでの実績を検証し、対象路線や必要性を検討する。

**答** 実業団女子駅伝のスタートを田熊石畑遺跡で。コースの見直しなど課題はあるが、市のPR効果が期待できるので、主催者に検討を要望する。

## 将来を担う子どもたちのために

新政クラブ／田原 敏美

「安心して子どもを育てることができるまちを宗像」を目指す、教育施策について問う。

**問** 土曜日授業を全学校で復活はできないか。

**答** 保護者や地域に開かれた学校づくりを推進でき、教育課程の実施にも余裕が生まれることから積極的に実施していく。



**問** 地域と連携した学校づくり在先駆的に取り組んでいる自治体に学ぶ考えはないか。

**答** 小中一貫教育の推進に伴い、保護者や地域住の意見を取り入れる学校の運営評議委員会を設置し、地域に開かれた学校づくりに取り組んでいる。

**問** 登下校中の悲惨な交通事故が相次いでいる。安全対策は万全か。

**答** 通学路安全対策会議を設置し、危険箇所の調査や改善実施、警察署などへの要望などを行う。

**その他の質問** 特徴ある観光の推進について。

## 山田地域の公共下水道整備を急げ

新政クラブ／小島 輝枝

本市は良好な住環境を宗像ブランドのひとつとしている。住んでみたいまち実現のためにも下水道整備のさらなる推進を提言する。

**問** 玄海地域の下水道事業の進捗はどうか。

**答** 下水道本管の布設工事、ほぼ計画どおりに進捗している。各戸の接続率は23年度末で約70%である。

**問** 山田地域の公共下水道設備を提言したが検討はされたか。整備されるのはいつか。

**答** 下水道事業実施の手続きについて県と協議を



## コーディネーション運動の導入を

新政クラブ／吉田 益美

**問** 本市の子どもの体力調査は全国で39位の福岡県とほぼ同様。対応は。

**答** 児童・生徒の運動能力と体力の向上のため、弱い部分を補強する運動を授業で取り組んでいる。

**問** 各学校が策定している体力向上プランに目標値を設定すべきでは。

**答** 具体的な期限を設けた目標設定は難しい。児童・生徒の実態に応じた取り組みを行い全国平均に届くよう指導していく。

**問** 目や耳などの五感による状況の察知、察知した情報の脳への伝達、脳による情報の認知と次による情報の認知と次に



行つべき行動の判断ほかこれら一連の過程を素早く正確に行う能力を高めるコーディネーション運動導入のため人材育成を。

**答** 人材不足のためモデル校の指定には至らないが、体育指導の先生と協議しながら導入を検討する。人材養成についても検討したい。

## 市民の力を活かすために

ふくおか市民政治ネットワーク／杉下 啓恵

問 市民活動団体やボランティア情報提供の仕方工夫できないか。

答 V・netを利用して可能な限りわかりやすい情報発信に努める。

問 市民活動団体などの活動を知って活かすための取り組みは。

答 まちづくりに関するシンポジウム、市民活動交流まつり、環境フェスタなどを開催している。

問 パブリックコメントで市民意見が出され易くするための工夫は。

答 条例、計画の概要版や貸出資料の作成により、市民意見は増加して

いる。

問 市民会議や市民アンケート実施後の市民への知らせ方は。

答 回答結果を広報紙やホームページで公表する。

問 高齢化に伴うコミュニティの課題と行政の関わりは。

答 役員業務の過重が課題なので、持続可能な体制づくりを支援する。



市民活動・ボランティア団体ガイド

## 老朽化する社会資本の改修を急げ

宗政会／石松 和敏

問 学校などハコモノの公共施設を総点検して老朽化の現状を明らかにし、今後、改修や建替えの維持管理にどの程度の財源が必要なのか伺う。

答 公共施設の維持や更新にかかる費用と財政運営を連動させた管理計画を策定し、費用を明確にする。また、公共施設修繕等基金への積み増しも検討する。

問 公共施設の資産管理、いわゆるアセットマネジメントを今年度から何年かけて策定する予定なのか伺う。

答 公共施設の現状と課題の整理を含め3年程度で策定する。



玄海小学校の改築工事現場

問 今日の気象状況から集中豪雨による水害の可能性は非常に高い。水害の危険がある区域の住民に避難を呼びかける手段として、屋外スピーカーは有効と考えるがどうか。

答 今年度、離島や沿岸部に屋外スピーカーを設置する。将来的に、水害などの危険がある区域へ設置の追加も考えていく。

問 公共施設の避難場所に井戸を掘ったどうか。

答 耐水性貯水槽の整備や井戸掘削などを検討し、避難所等整備計画に

## 水害予測箇所に屋外スピーカーを

日本共産党／植木 隆信

問 山田川の抜本的改修を盛り込んでいきたい。

答 山田川の流れば稲元区で不自然である。増水対策など考慮し、抜本的な改修を求める。

問 県が山田川の下流域から改修工事を進めているが、整備促進を要望している箇所でもあり、引き続き要望していく。



流れが大きく変わる山田川

## 意見書

4件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

「少人数学級推進」「義務教育費国庫負担制度拡充」を求める意見書

【全員賛成で可決】

(要旨) 国のGDPに占める教育費の割合はOECD加盟28カ国の中で最下位。義務教育費の国庫負担割合は引き下げられ自治体財政を圧迫し、非正規雇用者の増大など教育条件格差も生じている。将来の社会基盤づくりを担う子どもたちへの教育は重要であることから①少人数学級を推進し35人以下学級とすること②義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元することを求める。

(提出先) 内閣総理大臣、文部科学大臣

「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書

【全員賛成で可決】

(要旨) 社会インフラの老朽化対策は防災の観点から安全な社会基盤を再構築するため、防災・減災対策としての公共事業を行い、経済の活性化や雇用創出に資する防災対策として①道路、橋梁、上下水道、港湾など老朽化が進んでいる社会インフラへの公共投資を集中的に行うこと②電気、ガス、水道、通信などライフラインの共同溝化・無電柱化を促進し、防災機能の向上を図ること③学校など地域の防災拠点の耐震化及び防災機能の強化を推進することを求める。

(提出先) 内閣総理大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣

福岡県として住宅リフォーム助成制度の創設を求める意見書

【全員賛成で可決】

(要旨) 住宅リフォーム助成制度は、住宅のリフォームなどの経費の一部を自治体が助成する制度である。県内には築40年を経過した住宅が多く住宅リ

東日本大震災の災害廃棄物の広域処理に関する意見書

【賛成多数で可決】

(要旨) 東日本大震災により発生した膨大な災害廃棄物が、被災地の復旧・復興への大きな障害となっている。全国の自治体に広域処理の協力を要請しているが、受け入れは進んでいない。災害廃棄物の広域処理を速やかに行うため①災害廃棄物について、被災地で安全性の確認がされ、受け入れ市町村の要望に応じて、木くず、プラスチック類、布類などの割合を変えるなどの対応をしていることを国民に説明すること②災害廃棄物の処理について、国は自治体の個別事情に配慮して、被災自治体と受け入れ自治体とのマッチングを進めること③廃棄物受け入れに対する風評被害の未然防止策を講じ、風評被害が起きた場合は国が補償すること④災害廃棄物の処理経費は国が負担することを求める。

(提出先) 内閣総理大臣、環境大臣、復興大臣

## 第3次情報化計画について

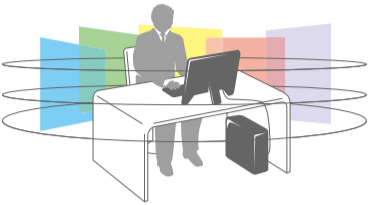
宗政会／花田 鷹人

問 第2次情報化計画はどの様に評価しているか伺う。

答 30の個別計画のうち約80%が目標を達成。コンビニ収納の開始による利便性の向上や市民図書館システム再構築による事務の効率化と経費削減などを実現している。

問 自治体クラウド導入には多くの障壁があると考えるが、導入についての考慮すべき点を伺う。

答 共同利用に参加する団体間で、サービスの範囲、導入時期や業務の標準化などの調整を行う必要がある。



## 住んでみたいまちNo.1目指して

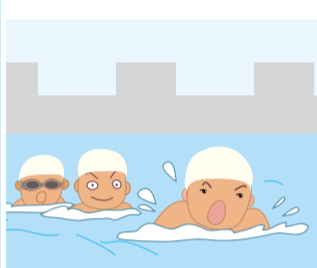
新政クラブ／神谷 建一

問 日本一のまちづくりの基本は、人材育成だと考えるが、各種ボランティア団体との連携について市の認識は。

答 ボランティア団体情報発信、活動助成、協働事業実施などで連携を図っている。また、市民と一緒に活動し考えていくことが大事だと認識している。

問 コミュニティ活動は、まちづくりでの重要な役割を担う。さらなる地域活性化のための今後の取り組み施策はあるのか。

答 地域課題を解決するための協働による課題解



## 神湊地域の整備計画立案を

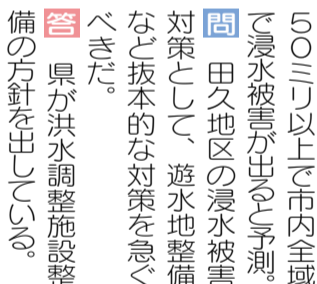
日本共産党／末吉 孝

問 神湊地域の位置づけと将来像はどう描いているのか。

答 景観を生かし観光施設や沿道サービス施設が共存するにぎわいを創出し、神湊の海上交通や観光機能の強化を図りたい。

問 漁民アパートの移築問題の進捗はどうか。

答 移築は困難。大規模修繕に方針変更する。



観光の集積を目指す国道495号沿い

提出議案と議決結果

【全員賛成で承認・可決した議案】

議案名	議案名
専決処分の承認について（宗像市税条例の一部を改正する条例）	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
専決処分の承認について（宗像市都市計画税条例の一部を改正する条例）	新たに生じた土地の確認について
専決処分の承認について（宗像市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	新たに生じた土地の確認に伴う字の区域の変更について
専決処分の承認について（損害賠償の額を定めることについて）	宗像市コミュニティ・センター玄海会館の指定管理者の指定について
市の機関の求めにより出頭した証人、関係人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について	「少人数学級推進」、「義務教育費国庫負担制度拡充」を求める意見書の提出について
宗像市若年者専修学校等技能習得資金貸与条例の一部を改正する条例について	福岡県として住宅リフォーム助成制度の創設を求める意見書の提出について
工事請負契約の締結について	「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書の提出について
宗像市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	

【賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議案名	議員名 議決結果	杉下啓恵	神谷建一	岩木久明	花田鷹人	西山隆	小島輝枝	新留久味子	石松和敏	小田英俊	日隈一憲	吉田益美	石橋文恵	田原敏美	植木隆信	末吉孝	花田利和	三浦貞雄
宗像市大規模太陽光発電設備設置促進条例の制定について	可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東日本大震災の災害廃棄物の広域処理に関する意見書の提出について	可決	◆	○	○	○	◆	◆	◆	○	○	◆	○	○	◆	◆	◆	○	○
災害廃棄物の福岡県内での広域処理に関する意見書の提出について	否決	◆	○	○	◆	◆	◆	◆	○	○	◆	○	○	◆	◆	◆	○	○

\* 田中時宗議長は、議員として議決に加わる権利を有しません

### 23年度政務調査費の支出状況

\* 金額は千円単位を四捨五入

### 政務調査費の対象となる経費

項目	内容
研修開催費	研究会または研修会を開催するための経費
調査研究費	調査研究活動のために必要な先進地調査または現地調査の経費および他の団体の開催する研究会または研修会に参加するための経費
資料作成および資料購入費	調査研究活動のために必要な資料の作成および図書、資料などの購入の経費
広報および広聴費	調査研究活動、議会活動および市の政策について住民に報告し、PRするための経費および議員が住民からの施策などに対する要望および意見を吸収するための会議などの経費
人件費	調査研究活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	調査研究活動のために必要な事務所の設置および管理の経費

本市の場合、議員個人に月額2万2千円（交付上限額は年額26万4千円）を交付。

平成23年度は、18人の議員に対し、総額約43万3千円（前年比73万円、14・4パーセント減）が交付されました。

政務調査費とは、地方公共団体が議員の調査研究に資するため、必要な経費の一部として、条例の定めるところにより交付できる経費です。

### ホームページで公開

交付されました。

支出の内訳は、**円グラフ**のとおりで、先進地の取り組みを調査研究する「調査研究費」と広報紙の作成や市への要望、意見を聴く会議を開催する「広報および広聴費」の割合が高くなっています。

政務調査費収支報告書は、全ての支出の領収書と報告書などの書類を添付して議長に提出します。

視察や研修会などに参加した場合は、「視察・研究研修会・会議等概要報告書」によりその概要や所感を報告します。政務調査に必要な図書や3万円以上の事務機器を購入した場合は、「図書リスト」や「備品台帳」で報告します。

これらの添付書類の様式などは、規則や手引きで定められています。

### 収支報告書は、平成23年度分から市議会のホームページで公開しています。

領収書やその他の添付書類については議会事務局に申し出をすれば誰でも閲覧することができます。（収支報告書の整理期間など閲覧できない場合があります。）閲覧

### 9月定例会のお知らせ

日程	内容
8/28 火	本会議（議案上程、提案理由の説明）
30 木	本会議（一般質問）
31 金	本会議（一般質問）
9/ 4 火	本会議（一般質問・大綱質疑）
5 水	総務常任委員会
6 木	社会常任委員会
7 金	建設産業常任委員会
11 火	予算決算第1特別委員会
12 水	予算決算第1特別委員会
13 木	予算決算第2特別委員会
14 金	予算決算第2特別委員会
18 火	委員会予備日
21 金	本会議（委員会報告、質疑、討論、採決）

を希望される方は、事前に事務局までお問い合わせください。

.....

### 議会を傍聴しませんか

本会議と委員会は傍聴することができます。

傍聴者の定員は本会議60人、委員会15人で、会議の開始時間は通常午前10時です。

小さなお子様連れや車椅子を利用される人、団体で傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局に連絡してください。

本会議と委員会は、市内の公共施設や市ホームページで中継しています。また、録画映像も市ホームページで公開しています。

### 6月定例会の傍聴・視聴者数

傍聴場所	人数
議場、委員会室	75人
市内公共施設	378人
インターネットアクセス件数	349件

### 傍聴者アンケートより

◆充実した議論がされていて、市民としてできることがあればいいことだった。

◆議会に傍聴にこなければ分からないということが多い。もっと市民に効果的なPRを。

◆答弁は、語尾をはっきりと話して欲しい。

◆意見書での活発な討論は、傍聴し甲斐があった。

など、多くのご意見ありがとうございました。

### 本会議議事録を公開中

本会議の議事録は、市役所本館1階・情報コーナーや市民図書館、各区コミュニティ・センターなどで閲覧できます。また、市ホームページでも閲覧できます。6月定例会の議事録は8月下旬の公開予定です。

市議会に関するお問い合わせは議会事務局

TEL (36) 1110662

市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/→「市内にお住まいの方」→「宗像市議会」